

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	カウンセリング実務演習Ⅱ				
担当者氏名	美濃 守隆、岩岡 由香				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門応用-2 豊かな人間性の醸成 ◎ 専門応用-3 コミュニケーション能力の向上 ○ 専門応用-4 発達の深い理解				

《授業の概要》

ロールプレイ等の体験学習でカウンセリング技能を学び、ペアやグループによる振り返りを通して実践力向上に努め、保育や教育場面での応用を目指します。実習では、自ら感じ、発信し、受けとめ、自他のこころの変化に気づくプロセスを体感し、カウンセリングの実務を理解します。カウンセリング技能の目的や限界、カウンセリングにおける自身の在り方や課題についても考えます。お互いを尊重し主体的に学びあう授業です。

《授業の到達目標》

- ・カウンセリングにおける自身の在り方や態度を体験的に理解し、カウンセリング・マインドについて実践上の課題を個々に把握する
- ・カウンセリング技能を習得し、スペシャリストとして研鑽を重ねる意味と目的を理解する
- ・実務場面における応用を目指すために学びを継続する方法を知る

《成績評価の方法》

授業への取り組み（予習・復習、個別ワーク、グループワークへの取り組み）40%
 授業内容に関するレポート30%
 期末レポート30%

《テキスト》

適宜資料を配布します

《参考図書》

授業内で紹介し、必要に応じて適宜資料を配布します

《授業時間外学習》

予習については授業時に示します。復習内容については、各自が個別に設定できるよう原則として授業内に時間を設けます。

《備考（教員経験の有無）》

この授業は、カウンセリング実務経験に基づいて構成していません。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、学習目的と内容、評価方法 カウンセリングとは…一般的にカウンセリングに期待されているものは？
2	カウンセラーの在り方、態度、場面設定	人間観、信頼、守秘…安心して話せる環境とは
3	カウンセリングにおける言語的/非言語的交流	カウンセリング場面でのコミュニケーションの実際…なにがどうやりとりされるのか
4	理解と共感	なにをどうきくのか…状況を聞く、気持ちを聴く
5	ロールプレイング 1	ロールプレイングの原則と理論 構成、関係構築、カウンセラーの態度、状況を聞く、気持ちを聴く
6	応答技法	質問、要約の目的と方法、影響と効果
7	ロールプレイング 2	実践と振り返り
8	主訴と見立て	主訴を捉える…なににどう困っているのか どのような見立てが可能か
9	ロールプレイング 3	実践と振り返り
10	事例を考える	実務場面での応用を考える
11	ロールプレイング 4	実践と振り返り
12	子どものカウンセリング	子どものこころの発達とカウンセリング
13	グループカウンセリングとは	他者とのかかわりを通して自分の気持ちや行動を振り返り、心理的な成長を支えるカウンセリングについて
14	守秘と連携	キンダーカウンセラー、スクールカウンセラーとの連携
15	まとめ	全体の振り返りとレポート提出